

降雨後に滞水しているほ場は、表面排水に努め、十分に乾いてから播種しましょう。  
除草剤は遅れず、適期に散布し、雑草対策を徹底しましょう！

### 1. 播種時の圃場条件

■圃場表面にヒビ割れができ、走り回れるくらいに固くしまった状態にする。

### 2. 種子消毒

■キヒゲンR-2フロアブルは乾籾に直接処理し、風乾後、冷暗所で保存する。  
(出芽率が低下するため、浸種・催芽は実施しない)

農薬名	使用時期	使用方法	使用量	対象病害
キヒゲンR-2 フロアブル	播種前	塗沫処理	乾籾1kg当たり 原液20ml	いもち病、ばか苗病、 苗立枯病、鳥害忌避

### 3. 播種及び施肥作業

■播種時期 4月10日～5月10日

品 種	播 種 量	
	コシヒカリ	平坦部（蝶屋地区、鶴来地区） 乾籾6.0～7.0kg/10a

■施肥

品 種	肥 料 名	施 用 量
コシヒカリ	BBV溝直播一発くん	25kg/10a (窒素分量10kg/10a)

※速効性肥料は肥焼けにより出芽率が低下するのでV溝直播専用肥料を使用する。

### 4. 播種後の水管理

■播種後はイネ本葉2～3葉まで入水しない（乾田状態で管理する）。  
■3回目の粒剤除草剤散布3日前に入水し、収穫直前まで湛水（深水）管理を継続する。

### 5. 雑草防除

雑草防除については裏面をご覧ください。

### ～漏生イネについて～

前年と異なる品種による直播き栽培では、漏生イネの発生が懸念されます。  
前作と異なる品種を作付する場合は、極力直播栽培は避けましょう。

☆直播についての質問は、JAの営農担当者、  
または、石川農林総合事務所農業振興部TEL:076-276-0371まで  
お問い合わせください。

5. 雑草防除

○ 随時雑草防除

多年生雑草（スズメノテッポウ、スズメノカタビラ等）の発生が多い場合は、播種前にラウンドアップマックスロードを散布する。

○ 除草体系

回数	除草剤名	使用時期の目安	使用量	適用雑草
1回目 (播種後10~14日)	混用 ラウンドアップ マックスロード +	出芽前	500ml/水50L	一年生雑草、 多年生雑草
	マーシエット乳剤	出芽前 (入水15日前まで)	1000~1500ml/ 水50L	一年生雑草、

※雑草の発生状況に応じて、乾田状態で**出芽前**に、遅れずに散布する。  
※隣接ほ場が移植ほ場となる場合は、必ず田植えまでに薬剤散布を終える。

回数	除草剤名	使用時期の目安	使用量	適用雑草
2回目 (1回目の20日後)	クリンチャーバスME 液剤	イネ2~3葉期	1,000ml/水100L	水田一年生雑草、 マツハイ、ホタルイ

※乾田状態で雑草の状況に応じて、散布する。

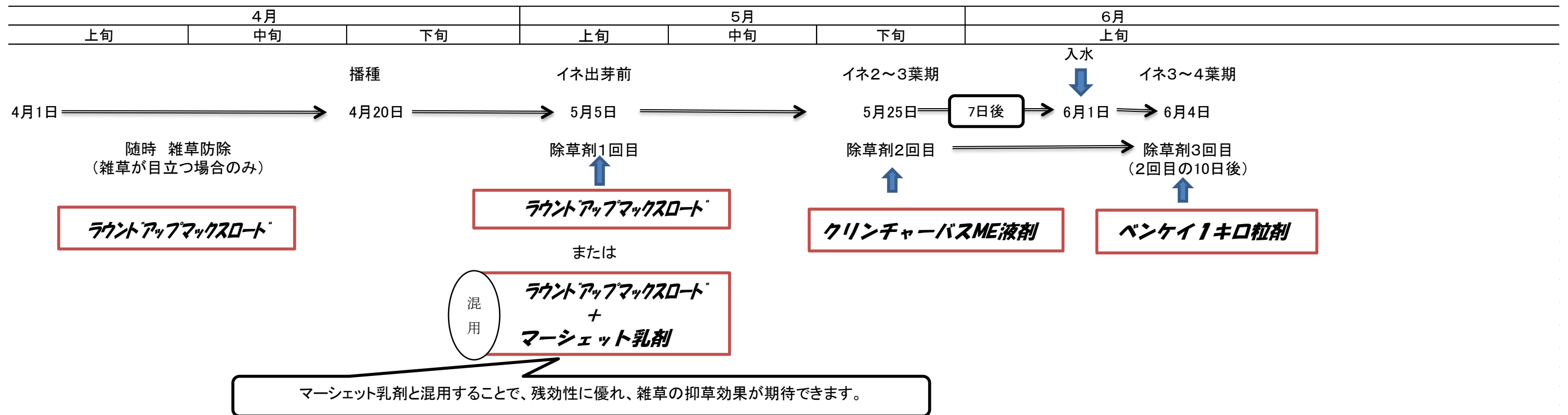
回数	除草剤名	使用時期の目安	使用量	適用雑草
3回目 (2回目の10日後)	ベンケイ1キロ粒剤	イネ3~4葉期	1kg/10a	水田一年生雑草、 マツハイ、ホタルイ等

※湛水状態で（入水後、水が落ち着いてから）散布する。

★ 除草剤の登録内容（乾田不耕起V溝直播栽培）

剤形	除草剤名	使用時期	雑草名	10aあたり 使用量	使用晩限	本剤の 使用回数	使用方法 注意事項
液剤	ラウンドアップ マックスロード	播種30日前 ~出芽前 (雑草生育期)	一年生雑草 多年生雑草	500ml /水25~50L		2回以内	雑草茎葉散布
液剤	マーシエット乳剤	播種直後 ~出芽前	水田一年生雑草	1000 ~1500ml /水50L	入水 15日前まで	1回	全面土壌散布
液剤	クリンチャーバスME 液剤	播種後10日 ~ノビエ3葉期	水田一年生雑草 マツハイ、ホタルイ	1000ml /水100L	収穫 50日前まで	2回以内	乾田状態で 雑草茎は散布
粒剤	ベンケイ1キロ粒剤	稲1葉期 ~ノビエ3葉期	水田一年生雑草 マツハイ、ホタルイ ウカワ、ミスガヤツリ、 ヒルムシロ、セリ	1kg	収穫 90日前まで	1回	湛水散布

《 除草剤散布時期の目安 》



【注意事項】  
ラウンドアップマックスロードの使用回数は、全体で2回以内です。  
入水後の粒剤散布は、除草効果を安定させるため、水が落ち着いてから使用して下さい。